

平成23年度地域移行支援（退院促進）セミナー

「誰のため!？」



何のため!？」

～つながろう、地域移行に向けて～

日時：平成24年2月18日（土）

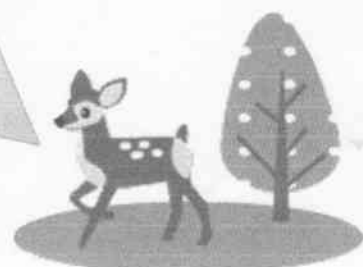
13:15～16:50（受付開始13:00）

場所：千葉市民会館

千葉市中央区要町1-1（043-224-2431）

精神科病院で長期に入院する人たちの退院促進を進めるための、専門家及び、そのパートナーたる家族・当事者を中心とした研修会です。

一般の方々の大勢の参加もお待ちしています。



主催：千葉県・特定非営利活動法人千葉県精神保健福祉協議会

後援：千葉市・千葉日報（予定）

プログラム

13:00 受付開始

13:15 主催者挨拶

NPO 法人千葉県精神保健福祉協議会会長 日下 忠文
千葉県健康福祉部障害福祉課課長 横山 正博氏

13:20 行政報告

13:40 基調講演

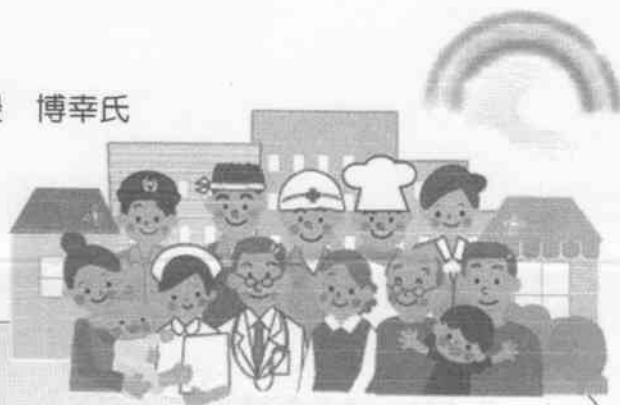
国立大学法人千葉大学医学部付属病院
精神神経科准教授 渡邊 博幸氏

14:30 休憩 (各分科会の会場へ移動)

14:40 分科会 (第1～第4分科会)

16:30 小ホールにて分科会報告・まとめ

16:50 終了



《基調講演 講師紹介》

渡邊 博幸氏

千葉大学医学部を卒業後、同付属病院、松戸市立病院、深谷赤十字病院で勤務。千葉大学大学院医学研究科にて学位取得後、同付属病院精神神経科にて講師、医局長となりました。2009年より国保旭中央病院神経精神科・地域精神医療推進部長に就任され、精神科薬物療法（薬物治療手順の開発と有用性検証、服薬アドヒアランス向上のための調査、心理教育、実践）、多職種チーム医療、精神科アウトリーチをご専門とされています。現在は千葉大学医学部付属病院精神神経科にて診療なさる傍ら、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の専門委員なども兼務されています。

《分科会》

(第1分科会)

昨年度は「退院促進の現状を本音で語ろう～病院と地域それぞれの役割・期待・思い～」をテーマに「旅たちの時」を上映し、「大多喜病院」の看護部での報告と「中核地域生活支援センターほっとねっと」からの発言をもとに意見交換を行いました。今年も病院と地域、それぞれの立場から意見交換を行う予定です。

(第2分科会)

昨年度は「地域での支援について～緩やかな地域の支援について考える～」をテーマに「千葉市心のボランティアあおば」、「生きがいと助け合い SSU 市川」、「ワーナーホームホレブ寮」から、退院した方がソフトに利用できるものの紹介がなされました。今年は「退院後の定着」をテーマに分科会を行います。

(第3分科会)

昨年度は「支援はどこまで可能か？」をテーマに「旭中央病院」、「地域活動支援センターオアシス」から支援の幅と深さが展開された事例発表があり、どうしたら地域移行が可能となるのか？どうしたら地域に定着できるのか？の検討を行いました。今年はお家族の立場や視点での事例を通して、検討を行う予定です。

(第4分科会)

昨年度は「10年後の精神保健福祉について」をテーマに、「びあ・さほ千葉」と聖学院大学の「こころの輪」がコラボレーションして参加者の皆様とのしゃべり場が開催されました。今年も「びあ・さほ千葉」を中心にわいわい楽しい分科会を開催する予定です。



お問い合わせ・・・

特定非営利活動法人千葉精神保健福祉協議会

080-7000-2093